

1 国語科

(1) 観点別学習状況の評価例

■教科の目標 ※『学習指導要領』 (平成29年告示)参照	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
	社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。	社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高める、思考力や想像力を養う。	言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。
■教科の「評価の観点及びその趣旨」 ※『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』参照	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしている。
○授業の構想と学習評価 (例)	「ダイコンは大きな根？」において、比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使うことができる。 《授業での取組》 課題を基にし、知識や理解の定着を図るとともに、分かったことを伝え合う学習。 《評価》 ○上記内容が身に付いているか。(単元テスト・定期考査) ○教材に出てきた語句の大意を捉え、使うことができるか。(単元テスト・漢字テスト) 《B基準の例》 ○本文中で比較がどのように使われているか理解している。 ○本文に出てきた語句の意味を理解している。	「ダイコンは大きな根？」において、文章の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握することができる。 《授業での取組》 課題を基に自ら深く考えたことを互いに伝え合い、学び合う学習。 《評価》 ○上記内容について適切に捉えたとともに、自分の考えを説明することができるか。(ワークシート・単元テスト・定期考査) 《B基準の例》 ○「問い」と「答え」から中心的部分を捉え、筆者の主張を理解している。	「ダイコンは大きな根？」において、文章の中心的部分と付加的部分について積極的に捉え、今までの学習を生かして筆者の説明の工夫を伝え合おうとしている。 《授業での取組》 捉え方について、既習事項を生かして自ら工夫したり、話し合ったりする学習。 《評価》 ○課題に取り組み、自分の考えを伝え合おうとしているか。 ○授業での学びを振り返り、学んだことを次の学習に生かそうとしているか(ワークシート、単元テスト) 《B基準の例》 ○段落に着目して、文章の中心的部分と付加的部分をまとめようとしている。 ○小学校で学んだ説明的な文章の学習を生かして、筆者の説明のしかたの工夫について話し合ったり、使ってみようとしている。

(2) 年間指導計画

国語科 教科の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

① 1学年

国語科 第1学年の目標

- (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (2) 筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

月	単元名	指導内容	評価材料
4	◆言葉に出会うために(5) ・授業オリエンテーション ・朝のリレー ・野原はうたう ◆学びをひらく(11) ・はじまりの風	・国語の授業について理解を深める・言葉、日常を新しい見方で捉える意識をもつ ・音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読する	「知識・技能」 ・漢字テスト ・単元テスト ・定期考査 ・小テスト
5	・情報を聞き取り、要点を伝える ・話の構成を工夫しよう。 ・音声の仕組みや働き	・場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉える。 ・必要な情報を選択、分類する意識を高める(人権) ・聞き手にわかりやすく伝えるために、話す順序や表現のしかたを工夫する。 ・音声の働きや仕組みについて、理解を深める	「思考・判断・表現」 ・ワークシート ・小テスト ・単元テスト
6	・漢字の組み立てと部首・漢字に親しもう ◆新しい視点で(11) ・ダイコンは大きな根？ ・ちょっと立ち止まって ・比較・分類	・漢字の組み立てや部首について理解を深める ・段落の役割に着目し、文章の中心となる部分を捉える。 ・文章の構成に着目し、序論・本論・結論の役割を考える。 ・情報を比較・分類する方法を確かめる(人権) ・本や資料から文章や図表などを引用して説明し、事実やそれを基に考えたことを書く。 ・指示する語句と接続する語句の役割について理解を深める	・定期考査 「主体的に学習に取り組む態度」 ・ワークシート ・定期考査 ・発表
7	・情報を整理して説明しよう ・指示する語句と説明する語句 ◆言葉に立ち止まる(8) ・空の詩、詩の創作教室、語彙を豊かに ・比喩で広がる言葉の世界 ・言葉のまとまりを考えよう ◆情報収集の達人になろう(3) ◆いつも本はそばに(2) ◆読みやすく書くための楷書(10)	・詩の情景や表現の効果について理解し、に、表現を工夫して詩を書く ・比喩について理解を深める ・「文章・談話」「段落」「文」「文節」「単語」の違いとそれぞれの特徴を理解する ・著作権について知る。図書館やウェブサイトの活用方法を知る。(人権) ・本を読んだ後、記録をしたり、友達に紹介したりする学習活動について理解する。 ・楷書と仮名の調和、筆遣いについて技能を身に付ける。	
9	◆心の動き(17) ・大人になれなかった弟たちに…… ・星の花が降るころに ・聞き上手になろう	・描写に着目して登場人物の心情を捉える(人権) ・場面ごとの描写に着目して、主人公の心情の変化をおさえる ・適切な質問を意識して聞く力を身に付ける(人権)	同上
10	・項目を立てて書こう ・読み手の立場に立つ ・方言と共通語・漢字の音と訓 ◆筋道を立てて(15) ・「言葉」をもつ鳥、シジウカラ ・根拠を明確にして書こう ・言葉の関係を考えよう ・大阿蘇	・内容を整理して、構成を工夫して書く力を身に付ける ・読み手の立場に立って、案内文を推敲する。(人権) ・漢字の音読み、訓読みについて理解を深める。共通語と方言の役割について理解する	
11	◆いしにえの心にふれる(8) ・いろは歌・古典の世界 ・蓬萊の玉の枝 ・今に生きる言葉 ◆価値を見いだす(11) ・「不便」の価値を見つめ直す	・図表に着目して、内容を的確に読み取る力を身に付ける ・根拠を意識してまとめる力を身に付ける(人権) ・「文節どうしの関係」「連文節」「文の成分」「文の組み立て」を理解する。 ・朗読音声を読み、言葉の響きやリズムを味わう。 ・歴史的仮名遣いについて理解を深める ・歴史的仮名遣いをふまえて、古文を音読み、現代の文章との違いを確かめる ・故事成語について理解を深める	
12	・原因と結果 ・話題や展開を考えて話し合おう ◆いつも本はそばに(1) ◆読みやすく書くための行書(10)	・説明の文章を読み、理解したことや考えたことを報告したり文章にまとめたりする。 ・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解する ・話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめる ・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解する ・行書の特徴を知る。	
1	◆自分を見つめる(28) ・少年の日の思い出 ・二十歳になった日	・情景描写や場面の变化などに注意して読み、物語文の内容をおさえる ・筆者の思いや考えが伝わる表現について、表現の効果を考える(人権) ・書きだしや結び、描写を工夫して随筆を書く ・単語の分類について理解を深める	同上
2	・構成や描写を工夫して書こう ・単語の性質を見つけよう(文法) ・漢字の成り立ち	・漢字がどのように成り立ってきたのか、六書をふまえて確認する ・表現技法や表記・表現のしかたの特徴を挙げて、その効果について話し合う。 ・1年間の学習で、印象に残っていることや興味を引かれたことを挙げ、視点を決めて振り返る。	
3	・ぼくがここに ・一年間の学びを振り返ろう ・漢字の復習 ・文法の復習 ・国語の力試し		

② 2学年

国語科 第2学年の目標

- (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (2) 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり、深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書生活を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

	単元名	指導内容	評価材料
4	◆広がる学びへ(16) ・授業オリエンテーション ・見えないだけ ・アイスプラネット ・意見を聞き、整理して検討する ・文法1 自立語 ・魅力的な提案をしよう ・枕草子	・国語の授業について理解を深める。 ・言葉の使い方や表現に着目し、作者のメッセージを捉える。 ・登場人物の表現に着目し、人物どうしの関係やその変化をおさえる力を付ける。 ・意見と根拠を表で整理し、適切さを検討する力を付ける。(人権) ・自立語について、分類の観点や各品詞の性質などを理解する。 ・話の構成や資料などを工夫し、効果的にプレゼンテーションをする力を付ける。 ・作者のものの見方や感じ方について理解し、自分と比較しながら読む。(人権)	「知識・技能」 ・漢字テスト ・単元テスト ・定期考査 「思考・判断・表現」 ・ワークシート
5	◆多様な視点から(11) ・クマゼミ増加の原因を探る ・思考の視覚化 ・職業ガイドを作る ・漢字1 熟語の構成 ◆言葉と向き合う(9) ・短歌に親しむ ・短歌を味わう ・言葉の力 ・言葉1 類義語、対義語、多義語 ◆情報×SDGs(2) ・メディアの特徴を生かして情報を集めよう	・文章の構成や、全体と部分の関係などを考えながら読む。 ・情報どうしの関係性を整理し、視覚的に表す方法を理解する。(人権) ・目的や意図に応じて題材を決め、情報を整理して明確に伝える力を付ける。 ・熟語の構成の種類について理解を深める。	・単元テスト ・200字作文 ・定期考査 「主体的に学習に取り組む態度」 ・漢字テスト ・振り返りシート ・200字作文振り返りシート ・定期考査
6	◆いつも本はそばに(2) ・読書を楽しむ ・翻訳作品を読み比べよう ◆書写(楷書)(10)	・短歌について理解を深める。 ・情景などを想像しながら作品を読み、自分の知識や経験と結びつけて読みを深める。 ・筆者が述べているさまざまな考えについて理解を深め、自分の経験と照らしあわせて考える。(人権) ・類義語、対義語、多義語について理解を深める。 ・情報メディアを比較し、それぞれの特徴を捉える。 ・夏季休業に向けて、読書をする意識を高める。	
7	◆人間のきずな(15) ・ヒューマンノイド ・字のない葉書 ・表現を工夫して書こう ・[推敲]表現の効果を考える ・言葉2 敬語 ・聞き上手になろう ・漢字2 同じ訓、同じ音をもつ漢字 ◆論理を捉えて(12) ・モアイは語る——地球の未来 ・思考のレッスン1 根拠の吟味 ・適切な根拠を選んで書こう ・聴きひたる 月夜の浜辺 ◆いしにえの心を訪ねる(10) ・音読を楽しむ 平家物語 ・扇の的——「平家物語」から ・仁和寺にある法師——「徒然草」から ・漢詩の風景 ◆価値を語る(14) ・君は「最後の晩餐」を知っているか ・思考のレッスン2 具体と抽象 ・話し合いの流れを整理しよう ・文法2 用言の活用 ・立場を尊重して話し合おう ・漢字に親しもう4 ◆いつも本はそばに(1) ・「自分らしさ」を認め合う社会へ ◆書写(行書)(10)	・文章の構成や展開を踏まえ、登場人物の言動の意味について考える。 ・文章に込められた筆者の思いを考えながら読む力を付ける。(人権) ・相手や目的に応じた適切な表現を使い分ける力を付ける(人権) ・表現の効果に着目して、文章を推敲する力を付ける。 ・敬語についての理解を深め、適切に話そうとする態度をはぐむ。 ・話の展開に注意し、相手の思いや考えに応じて質問する力を付ける。 ・同訓異義語や同音異義語について理解を深める。 ・文章の構成や論の展開の仕方をおさえて、問いと答え、根拠の関係を整理して読む。 ・適切な根拠とは何かを理解する。 ・根拠の適切さを意識して文章を書く。(人権) ・詩の朗読を通して、情景や心情を読み取る。 ・漢語を交えた独特な調子とリズムをもつ作品を読み、古文に親しむ。 ・登場人物の言動の意味を考え、そこに表れたものの見方や考え方を捉える。 ・作者のものの見方や考え方を自分の経験と照らしあわせて考え、読みを深める。 ・漢詩についての理解を深め、作品に描かれた心情や情景をおさえる。 ・文章の構成や表現の特徴を考えて読み、筆者の考えをおさえる。 ・具体と抽象について理解を深める。 ・話し合いを進行する上で必要なことを理解し、活用する。(人権) ・用言の活用について理解を深める。 ・互いの立場を理解した上で話し合いの中で最善を探る力を付ける。(人権) ・漢字の意味や用例などを調べ、語彙を広げる。 ・冬季休業に向けて、読書をする意識を高める。	同上
9	◆表現を見つめる(25) ・走れメロス ・文法3 付属語 ・描写を工夫して書こう ・言葉3 話し言葉と書き言葉 ・漢字3 送り仮名 ・国語の学びを振り返ろう ・鍵 ◆国語の力試し(3) ・読む力、話す力、聞く力、知識・技能	・登場人物の心情の変化や情景描写の意図を考えて、読みを深める力を付ける。 ・付属語について理解を深める ・効果的な描写の種類や方法について考えて文章を書く。 ・話し言葉と書き言葉の特徴をおさえる。 ・送り仮名の原則や例外について理解を深める。 ・国語の学習について振り返り、今後の学習につなげる。 ・詩を読み、自分の経験と結びつけて考えを深める。 ・これまでに身につけた力を活用して問題に取り組む。	同上
10			
11			
12			
1			
2			
3			

③ 3学年

国語科 第3学年の目標

- (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

	単元名	指導内容	評価材料
4	◆深まる学びへ(13) ・国語オリエンテーション ・世界はうつくしいと ・握手	・国語の授業について理解を深める。 ・語句の意味や詩の構成に注意して読む。 ・一つ一つの表現に着目し、登場人物の真意などを想像しながら読む。(人権)	「知識・技能」 ・漢字テスト ・単元テスト
5	・意見を聞き、適切さを判断する ・文法1 文法を生かす ・説得力のある構成を考えよう ・言葉1 相手や場に応じた言葉遣い ・学びて時に之を習ふ——「論語」	・根拠を整理し、意見の適切さを検討する力を付ける。 ・文節の関係や意味のまとまりについて理解する。 ・説得力のある文章の構成について理解し、文章を書く。 ・相手や場に応じた言葉遣いについて理解し、適切に表現する力を付ける。(人権)	・定期考査 「思考・判断・表現」 ・ワークシート ・単元テスト
6	◆視野を広げて(9) ・作られた「物語」を超えて ・思考のレッスン 具体化・抽象化 ・論理の展開を意識して書こう ・漢字1 熟語の読み方 ◆言葉とともに(7)	・筆者の論理の展開を捉え、社会や人間について自分の意見をもつ。 ・具体と抽象という視点で物事を捉え、分析する力を付ける。 ・論理の展開を工夫して小論文を書く力を付ける。 ・重箱読み、湯桶読みについて理解を深める。	・200字作文 ・定期考査 「主体的に学習に取り組む態度」 ・漢字テスト
7	・俳句の可能性 ・俳句を味わう ・言葉の釣り糸を垂らす ・言葉2 和語、漢語、外来語 ◆情報×SDGs(3) ・実用的な文章を読もう ・報道文を比較して読もう ・情報整理のレッスン ◆いつも本はそばに(2) ・読書を楽しむ	・俳句という表現形式について理解を深める。 ・俳句作品を読み味わい、短い文章に込められた情景や思いを想像する。 ・抽象的な概念を表す語句について学び、筆者の主張に対して自分の考えをもつ。 ・和語、漢語、外来語について理解を深める。	・振り返りシート ・200字作文振り返りシート ・定期考査
9	◆状況の中で(12) ・挨拶——原爆の写真によせて ・故郷	・作品を通して、人間や現代社会について考えを深める。 ・作品を批判的に読み、人間や社会情勢の変化について自分の意見をもつ。(人権)	同上
10	・論理の展開を整える ・言葉3 慣用句・ことわざ・故事成語 ・聞き上手になろう ・漢字2 漢字の造語力 ◆自らの考えを(10)	・客観的に自分の文章を推敲する力を付ける。 ・慣用句、ことわざ、故事成語について理解を深める。 ・話し手の意図をふまえて質問をする意識を高める。(人権)	
11	・複数の意見を読んで、考えよう ・考えを効果的に伝えよう ・漢字に親しもう3 ・文法2 文法のまとめ ・聴きひたる 初恋 ◆いしにえの心を受け継ぐ(12) ・和歌の世界 ・古今和歌集 仮名序 ・君待つと——万葉・古今・新古今 ・夏草——「おくのほそ道」から ・つながる古典	・話し手の意図をふまえて質問をする意識を高める。(人権) ・漢字の造語力について理解する。	
12	◆価値を生み出す(10) ・それでも、言葉を ・漢字3 漢字のまとめ ・漢字に親しもう4 ・話し合いを効果的に進めよう ・合意形成に向けて話し合おう ◆いつも本はそばに(1) ・本は世界への扉 ◆書写(楷書・行書)(10)	・文章を批判的に比較し、論理や表現を評価する力を付ける。 ・「批評」について考え、根拠をもって論じたり評価したりする文章を考える。(人権) ・漢字の意味や用例などを調べ、語彙を広げる。 ・助動詞について理解を深める。 ・描かれた情景や心情について考え、互いに交流する。 ・和歌についての理解を深める。 ・音読み、古文の言葉の響きを味わう。 ・さまざまな時代に詠まれた歌に込められた心情や情景を想像し、意見交換をする。 ・作者についての理解を深め、紀行文を通して心情や情景を考える。 ・三年間で学んだ古典作品について振り返り、まとめる。 ・概念的な筆者のものの見方や考え方を捉え、社会や人間について自分の意見をもつ。(人権) ・漢字に関する三年間の学びを振り返る。 ・漢字の意味や用例などを調べ、語彙を広げる。 ・話し合いを効果的に進める力を付ける。 ・課題解決のために多様な意見を活用しながら合意形成を図る力を付ける。(人権)	
1	◆未来へ向かって(13) ・温かいスープ	・必要情報を適切に読み取る力を付ける。 ・観点を明確にして報道文を比較、検討する力を付ける。 ・情報の信頼性を見極める力を付ける。(人権)	
2	・アラスカとの出会い ・律儀な桜 ・わたしを束ねないで ・三年間の歩みを振り返ろう ・漢字に親しもう5	・夏季休業に向けて、読書をする意識を高める。	
3	◆学びを深める(3) ・国語の力試し	・作品を通して、人間や現代社会について考えを深める。 ・作品を批判的に読み、人間や社会情勢の変化について自分の意見をもつ。(人権) ・客観的に自分の文章を推敲する力を付ける。 ・慣用句、ことわざ、故事成語について理解を深める。 ・話し手の意図をふまえて質問をする意識を高める。(人権) ・漢字の造語力について理解する。 ・文章を批判的に比較し、論理や表現を評価する力を付ける。 ・「批評」について考え、根拠をもって論じたり評価したりする文章を考える。(人権) ・漢字の意味や用例などを調べ、語彙を広げる。 ・助動詞について理解を深める。 ・描かれた情景や心情について考え、互いに交流する。 ・和歌についての理解を深める。 ・音読み、古文の言葉の響きを味わう。 ・さまざまな時代に詠まれた歌に込められた心情や情景を想像し、意見交換をする。 ・作者についての理解を深め、紀行文を通して心情や情景を考える。 ・三年間で学んだ古典作品について振り返り、まとめる。 ・概念的な筆者のものの見方や考え方を捉え、社会や人間について自分の意見をもつ。(人権) ・漢字に関する三年間の学びを振り返る。 ・漢字の意味や用例などを調べ、語彙を広げる。 ・話し合いを効果的に進める力を付ける。 ・課題解決のために多様な意見を活用しながら合意形成を図る力を付ける。(人権)	同上